

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 長良川流域滞在型観光推進プロジェクト事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光資源活用課 観光コンテンツ係 電話番号：058-272-1111

(内 3203)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,000千円（前年度予算額：4,000千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,000	2,000	0	0	0	0	0	0	2,000
要求額	4,000	2,000	0	0	0	0	0	0	2,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

平成27年12月に「清流長良川の鮎」が世界農業遺産として認定されたことを契機に、長良川上・中流域にある魅力的な観光資源を、岐阜市、関市、美濃市及び郡上市の4市共通の広域的な観光資源として捉え、周遊・滞在型の観光地づくりを加速度的に推進するため、県及び4市・観光関連団体が連携し、「長良川流域観光推進協議会」を、世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会内の専門部会として設立した。

平成28年度から、流域内での情報発信体制の整備、観光マーケティング調査、常時提供可能な体験プログラムの造成、流域内の交通事業者（長良川鉄道、岐阜バス、NEXCO）等と連携した周遊滞在商品の造成などを、国の交付金を活用して進めてきた。

そのように流域内での観光客の受入体制の整備を進める中、令和3年度には、長良川流域が「2021年世界の持続可能な観光地100選（TOP100選）」に選出された。世界的に「サステイナブルツーリズム」に対する関心が高まる中、今回の選出を活かし今後は、選定への取組みの中で掘り起こされた観光資源を活用した魅力発信や旅行商品の販売支援等を実施する。

(2) 事業内容

県と長良川流域の4市（岐阜市、関市、美濃市、郡上市）が連携して、長良川上・中流域を周遊・滞在させる観光地域づくり事業を推進する。

協議会事業【事業費：8,000千円（うち県費：4,000千円）】

- ・TOP100選の中で掘り起こされた資源等を活かした周遊企画の実施
- ・TOP100の認定をPRする首都圏等での魅力発信イベントの実施
- ・TOP100の認定を契機とした旅行商品の販売支援の実施
- ・観光マーケティング調査の実施 等

(3) 県負担・補助率の考え方

協議会事業は、県が4,000千円、4市が各1,000千円負担する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	4,000	協議会負担金
合計	4,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

（人を呼び込み、地域の消費を拡大するために）

岐阜県成長・雇用戦略2017

観光産業の基幹産業化プロジェクト

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

2. しごとをつくる

(2) 観光産業の基幹産業化

(2) 後年度の財政負担

県と4市が連携して広域的な観光振興に取り組むため協議会で実施することが妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

長良川流域周辺の観光資源や旅行プランを積極的にPRすることで、観光入込客、宿泊客を増やし、観光消費額の増大を図る。

- 観光消費拡大につながる質の高い観光資源づくり
- 主要観光地の魅力を活かした観光誘客プロモーション
- 世界に選ばれる観光地づくり

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2 年度	R3 年度	R4 年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
① 観光消費額						%
② 観光入込客数（実数）						%
③ 外国人延べ宿泊者数						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテストの実施 ・体験プログラムのブラッシュアップ、PRツールの再編 ・自転車を活用した周遊型体験プログラムのPR動画作成 ・地酒を活用した土産品造成及び情報発信の実施
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加

指標①	目標： ___ 実績： ___ 達成率： ___ %
指標①	目標： ___ 実績： ___ 達成率： ___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>観光滞在時間及び観光消費額の増大を図るためには、長良川流域周辺に存在する観光資源を連携させ、観光客を周遊・滞在させる仕組みを作ることが必要であり、本事業の必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>本事業を通じ、4市が一体的に取り組んでいく動きが出てきておいる。また、今までエリア内に無かった、周遊滞在を喚起する仕組み、サービスが産まれている。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>県、4市が共通の課題に対して一体的に実施するため、それぞれで実施するより効率的である。</p>

(今後の課題)

<p>エリア内で持続的に観光地経営が出来る体制の構築</p>

(次年度の方向性)

<p>持続可能な観光地 TOP100 選への選定と連動した事業を軸に事業規模、実施体制について関係者と協議しながら進める。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	